

MIDI BOX  
**MB01**

取扱説明書

**YAMAHA**

この度は、ヤマハ ミディ・ボックス MB01をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。  
 ミディ・ボックス MB01は、ヤマハの高度な電子技術と、永年にわたる楽器造りの経験を結集し、  
 開発した音楽性豊かな演奏装置です。

ミディ・ボックス MB01の豊富な機能と優れた性能をフルに発揮させるとともに、末長くご愛用  
 いただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

## 特 長

- ミディ・ボックス MB01は、記録媒体にマイクロフロッピーディスクを使用したデジタル方式の再生専用のシーケンサーです。
- MIDI機能を内蔵。外部のMIDIシンセサイザーやリズム・マシンなどの音源機器をコントロールして、フロッピーディスクのデータを再生します。
- 操作は、すべてリモコンを使用することにより、簡単に行なえます。
- 再生の際に、音量の調整や移調、テンポの設定が自由に行なえます。なお、テンポを変更しても、音程が変わってしまうことはありません。
- 選曲や早送り・巻戻しがスピーディに行なえます。
- 曲の指定された箇所を繰り返し再生するリピート機能があります。
- 任意のMIDIチャンネルをキャンセルすることができるため、再生をしながらそのキャンセルされたパートを練習することができます。
- ヤマハ独自のフォーマット方式“ESEQ”(呼び方=イーシーク)により、デジタル・シーケンス・レコーダ QX3やピアノプレーヤなどで記録した演奏データを再生することが可能です。

## CONTENTS

◆ はじめに	2
◆ 特長	2
◆ ご使用上の注意	3
◆ フロッピーディスクについて	4
◆ リモコンの電池セットについて	4
◆ 各部の名称とはたらき	
I. フロント・パネル	5
II. リア・パネル	6
III. リモコン	7
◆ ミディ・ボックス MB01の使い方	
I. 接続図	10
II. 再生のしかた	11
◆ ミディ・ボックス MB01 応用方法	
I. ソング・データについて	12
II. ディスクの互換性について	12
III. ESEQについて	12
◆ 故障と思われるときには	13
◆ エラーメッセージについて	14
◆ 仕様	14
◆ サービスについて	15

## ご使用上の注意

### ●設置場所について●

次のような場所でご使用になりますと、故障などの原因となりますのでご注意ください。

- ・窓際などの直射日光の当たる場所
- ・暖房機具のそばなど極端に暑い場所
- ・湿度の極端に高い場所
- ・極端に乾燥した場所
- ・ホコリの多い場所
- ・振動の多い場所

### ●電源について●

日本国内仕様のため、必ずAC100V(50Hzまたは60Hz)の電源コンセントに接続してください。AC100V以外の電源は、絶対にご使用にならないでください。また、長期間ご使用にならない場合には、電源コンセントから抜いてください。

### ●フロッピーディスクについて●

フロッピーディスクは、ていねいに取り扱いってください。詳細は次のページの“フロッピーディスクについて”をご覧ください。

### ●外装のお手入れについて●

汚れなどのお手入れは、柔らかい布でから拭きしてください。なお、ベンジンやシンナーなどの揮発油で外装を拭いたり、近くでエアゾール・スプレーを散布したりすることはお避けください。

### ●ほかの電気機器への影響について●

デジタル回路を多用しているため、ごく近くでラジオやテレビなど、同時にご使用になりますと、ラジオやテレビ側で雑音などが生じることがあります。十分に離してご使用ください。

### ●保証書の手続きについて●

お買い求めいただきました際、捺印の上必ず保管してください。捺印がない場合、保証期間中でも、万一サービスの必要があるときには実費をいただくこととなりますので、充分ご注意ください。

### ●取り扱いについて●

- ・MB01のスイッチやリモコンのキーに無理な力を加えないでください。
- ・リモコンの上に物を置いたり、物をぶつけたりしないでください。
- ・コード類を楽器などの下にはさみこまないように注意してください。
- ・コード類を抜き差しする際には、必ず電源を切ってからにしてください。
- ・コード部分の断線やショート防止のために、コードをはずす時には、必ずプラグを持って抜いてください。

### ●パネルを取りはずさないように●

フロント・パネルやリア・パネルなどを開けて内部に手などをいれますと、故障や感電事故を起こすことがあります。何か異物が入った時には、すぐ電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。

### ●落雷に対して●

落雷のおそれのある場合には、早めにコンセントから電源プラグを抜きとってください。

### ●水にぬれたら●

万一雨が降ったり、花瓶などの水をこぼした時には、すぐに電源プラグを抜き、販売店にご連絡ください。

### ●移動の際には●

移動する場合は、コード類の断線やショートを防ぐため、コード類をすべて取りはずしてから運んでください。

### ●故障かなとおもったら●

まず、“故障と思われるときには”のページをご覧ください。意外なところで操作を誤っていることがあります。

### ●保管してください●

この取扱説明書をお読みになりましたら、保証書とともに大切に保管してください。

## フロッピーディスクについて

フロッピーディスクは、磁性体を表面に塗付したフィルム状の記憶媒体です。磁性体面は大変デリケートなので、取り扱いには十分に注意してください。

### ●規格について●

- ・フロッピーディスクには種類があります。ヤマハの“ESEQ”フォーマット規格を持った機種で MB01用に録音する際には、両面倍密度倍トラックの3.5インチ フロッピーディスク（推奨商品：ヤマハ MF2DD）をご指定ください。
- ・フロッピーディスクには向きがあります。必ずラベルの貼ってある面を上にして、ディスクに表示してある矢印の方向に向けて、ディスク・ドライブに挿入してください。詳しくは、“再生のしかた”の項 フロッピーディスクの挿入図をご覧ください。
- ・フロッピーディスクに収録されているソング・データは、録音条件などにより異なりますが、MB01では最大112曲までとなっています。

### ●取り扱いについて●

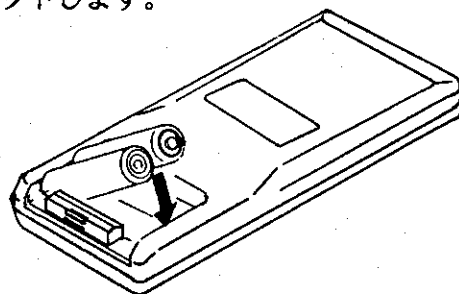
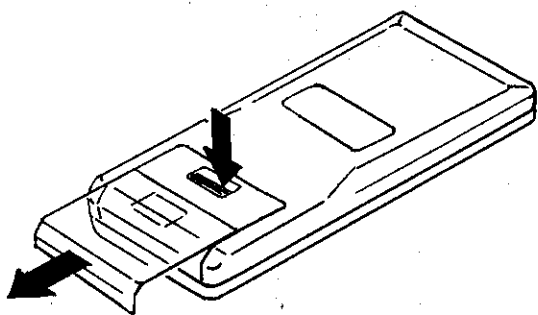
- ・シャッターをスライドさせて磁性体面に触れないでください。また煙やスプレーなどを吹きかけたりしないでください。汚れが付着したり傷がつくと使用不可能になることがあります。
- ・ホコリの少ない場所でご使用、または保管してください。
- ・ラジオやテレビ、スピーカーなど、磁気を帯びた物に近づけないでください。
- ・温度条件は、4℃～52℃です。4℃以下や52℃以上の場所に保管しないでください。

## リモコンの電池セットについて

付属のリモコン（リモート・コントロール・トランスミッター）は、付属の単4乾電池2本をセットしてお使いください。MB01では、電源投入以外の操作はすべてこのリモコンで行ないます。詳しくは、“各部の名称とはたらき”のページをお読みください。

### ●乾電池のセット●

- ① 底面のバッテリー・カバーをはずします。
- ② +と-の向きを確認しながら、乾電池をセットします。



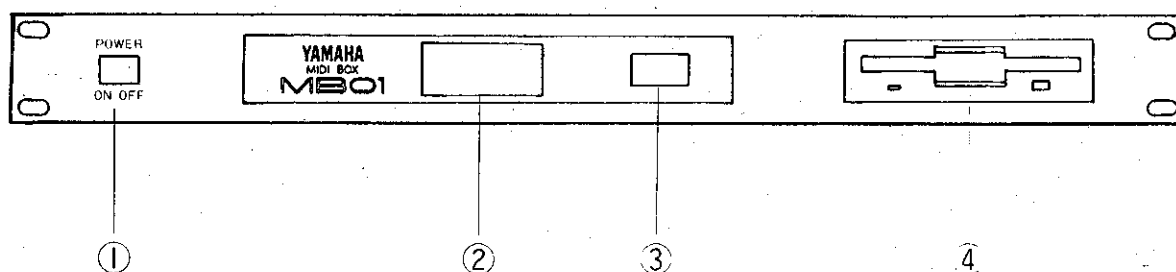
- ③ バッテリー・カバーをもとのとおりに戻します。

### ●ご注意●

- ・+と-の向きを、リモコンの電池ケースの表示通りに正しく入れてください。
- ・リモコン操作をできる距離が短くなってきたら、電池を交換してください。
- ・電池交換は、同じタイプの電池を2本同時に交換してください。
- ・リモコンを長い期間使用しない場合には、液もれをふせぐため、電池を取り出しておいてください。

## 各部の名称とはたらき

### I. フロント・パネル



#### ① 電源スイッチ(POWER)

スイッチをONにすることで、電源が入り、フロッピーディスクからソング・データを読み込むための初期状態になります。また、スイッチをOFFにすると、一度読み込んだデータはすべて消去されます。再度使用する場合には、もう一度データを読み込む必要があります。

#### ② LEDディスプレイ

使用する楽曲の番号やボリュームなど、リモコンで指定した数値が、3桁までの数字で表示されます。なお、曲の再生中には、小節数が表示されます。

■ソング・データには2種類あります。

データ中に、小節制御がなされていない場合、曲の再生中にはクロックを基準とした秒表示が、3桁の数字で表示されます。詳細は、“再生のしかた”と“ソング・データについて”の項をご覧ください。

#### ③ リモコン信号受光窓

リモコンの操作をする際に、リモコンの信号送光窓から送られてくる信号を受ける場所です。リモコンを使用するときには、この窓に向けて操作してください。

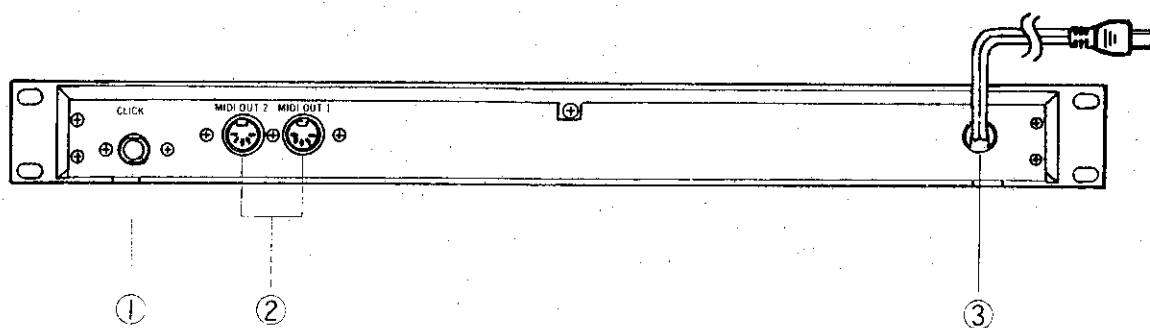
#### ④ フロッピーディスクドライブ

フロッピーディスクから、ソング・データを読み込む場所です。挿入口左下にあるライトは、フロッピーディスクからデータを読み込む際に点灯します。

このランプが点灯している時は、決してディスクを抜いたりしないでください。ディスクに保存されているデータが、破壊されることがあります。

なお、挿入したフロッピーディスクを取り出す時には、挿入口右下にあるボタンを押してください。フロッピーディスクの挿入方法については、“フロッピーディスクについて”と“再生のしかた”の項をご参照ください。

## II. リア・パネル



### ① クリック端子(CLICK)

MB01を使って演奏や練習をする際に、クリック音(メトロノーム音)を出力する端子です。シールド・コードでアンプなどに接続してご使用ください。なお、“接続図”の項をご覧ください。

### ② ミディ・アウト端子

(MIDI OUT 1,2)

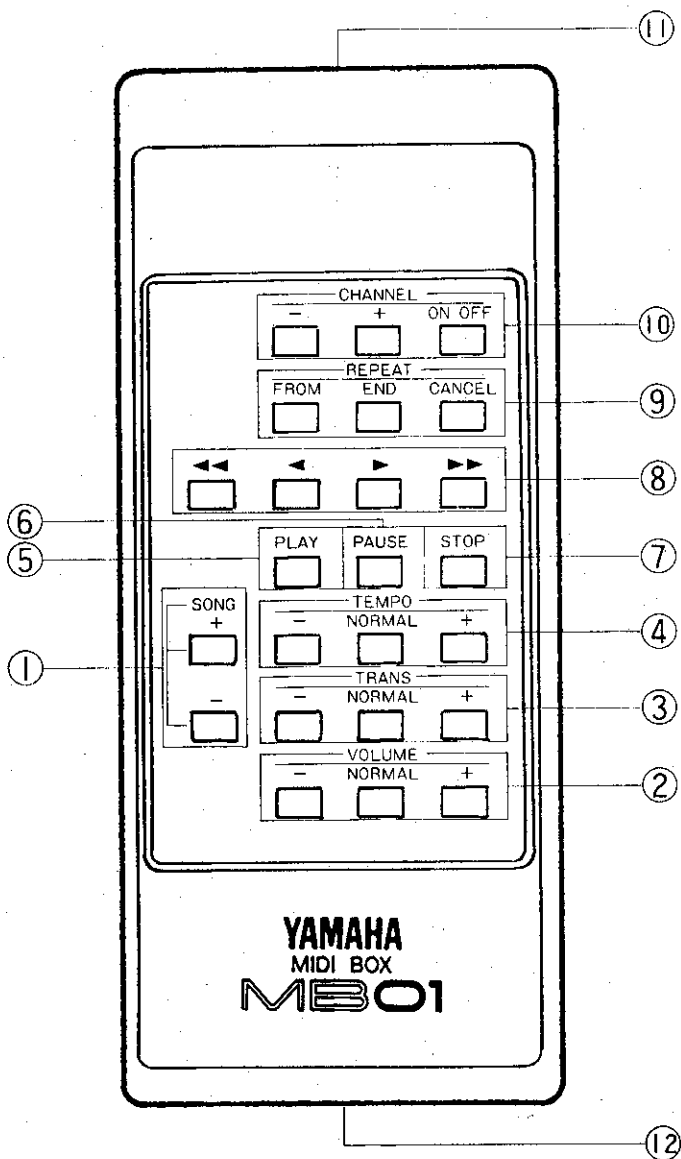
MB01から出力されるMIDI信号をシンセサイザーなどのMIDI楽器に送り込むための端子です。ソング・データを出力させる際、ミディ・アウト 1,2のうち、どちらか一方だけを使用することも、両方とも使用することもできます。詳しくは“接続図”の項をご参照ください。

### ③ AC電源

100Vのコンセントに差し込んで、ご使用ください。

### III. リモコン

MB01は、すべての操作をリモコン(リモート・コントロール・トランスミッター)を使って行います。リモコンにより設定した数値は、MB01本体の液晶ディスプレイに表示されます。なお、電源を入れた時には初期設定になっていますので、ご使用の都度必要な設定を行なってください。



#### ① 選曲キー(SONG)

フロッピーディスクから呼び出したい楽曲の番号を、+キーと-キーを使って指定します。曲の番号は001~112まで指定できますが、それぞれのソング・データの容量などにより、フロッピーディスクに収録されている楽曲数は異なります。

また、MB01にすでに読み込まれている楽曲の番号を再び指定すると、表示されている数字の下にドット(・)が表示されます。“再生のしかた”のページをご参照ください。

#### ② 音量キー(VOLUME)

ソング・データとして、あらかじめ設定されている音量を増減します。初期設定のボリュームを0とし、最小値-99から最大値99まで、+キーと-キーを使って変更できます。また、NORMALキーを押すと初期設定値に戻ります。このボリューム操作は、プレイ中でも、ストップしている状態でも、ご使用になれます。

#### ③ 移調キー(TRANS)

ソング・データとして、初期設定されている音調を変更します。初期設定値を0とし、+キーを1回押すごとに半音ずつ上がり、-キーを1回押すごとに半音下がります。最低-99から最高99まで変更できますが、MB01に接続している楽器の特性などにより、一部のチャンネルだけトランスポーズしない場合もあります。(RX17などをノートで鳴らしているとき。)もとの音調に戻る時には、NORMALキーを押してください。この移調操作も、プレイ中、ストップ中を問わずご使用になれます。

④ テンポ・キー(TEMPO)

+キー、-キーを押すことにより、初期設定された曲のテンポを変更します。キーを1回押すごとに、♩=20~300の範囲内で1ずつ増減し、NORMALキーを押すと、ソング・データに初期設定された数値に戻ります。

⑤ プレイ・キー(PLAY)

PLAYキーを押すと選曲キーで選んだ楽曲のデータを読み込んでから、演奏をスタートします。すでにソング・データをMB01本体に読み込んである場合には、PLAYキーを押すとすぐに再生を開始します。

ポーズ状態や早送り、巻戻し状態では、PLAYキーを押すと、曲の停止している地点から再生を始めます。また、STOPキーを押して曲を中断した場合には、その曲の先頭からデータを再生を開始します。

■通常、プレイ中には、ディスプレイに小節数が表示されますが、小節制御されていないソング・データを使用した時には、3桁の秒表示が出ます。

⑥ ポーズ・キー(PAUSE)

プレイ状態でPAUSEキーを押すと、その地点で再生を中断し、ディスプレイに表示されている小節数が点滅します。PLAYキー、もしくは他の操作キーを押すまで、この状態で待機しています。PAUSEキーを2回押しても、再生状態には戻りません。停止地点から再生するにはPLAYキーを押してください。

⑦ ストップ・キー(STOP)

プレイ中にSTOPキーを押すと、再生を中断し、その曲の先頭に戻ります。この操作をすると、ディスプレイの表示は小節数もしくは秒数から楽曲番号に変わります。

⑧ 早送り・巻戻しキー

早送り・巻戻しキーを使用した場合、◀キーを1回押すごとに10小節、◀キーを1回押すごとに1小節巻戻すことができます。同様に、▶キーで10小節ごとに、▶キーで1小節ごとに早送りできます。再生中、これらのキーを使用した場合、キーを離れた地点からプレイします。曲の停止中には、キーを離れた地点でポーズ状態になります。PLAYキーを押すことで、そこから再生を開始します。なお、曲の先頭まで巻戻す際には、STOPキーをご使用ください。

早送り・巻戻し機能は、ソング・データがMB01本体に読み込まれた状態でご使用ください。

■なお、小節制御されていないソング・データをご使用の場合、◀キーは10秒ごとの巻戻し、◀キーは1秒ごとの巻戻しとなります。同様に、▶キーは10秒ごとに、▶キーは1秒ごとに早送りします。小節制御については、“ソング・データについて”の項をご参照ください。

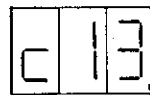


⑨ 繰り返し設定キー(REPEAT)

リピート練習などをする際に、繰り返し区間を設定します。プレイ中やポーズ状態の時に、FROMキーを押すと繰り返し開始小節を指定でき、ENDキーを押すと終了小節を指定できます。この設定は、CANCELキーで解除できます。同一小節内で指定した場合には、その1小節を繰り返します。これらの機能は、早送りや巻戻し後のポーズ状態でも、設定できます。また、FROMキーを押さずにENDキーを押した場合には、曲の先頭から終了小節までをリピートします。設定後にSTOPキーを押すと、開始小節に戻ります。この後、PLAYキーを押すと、2小節のリード・クリックが入った後でリピートを開始し、再びSTOPキーを押すと繰り返し開始小節に戻ります。このリード・クリックは、曲の拍子に合わせて、カウントを刻みます。なお、指定区間以外の地点から演奏をスタートさせる際には、早送り・巻戻しキーをご使用ください。このリピート機能は、繰り返し区間を設定した後に、再度区間を指定し直すこともできます。

⑩ チャンネル・キー(CHANNEL)

MB01で使用するソング・データは、通常MIDIチャンネルに合わせて、演奏パートを振り分けてあります。パート練習などをする際に、不必要なチャンネルをキャンセルできます。+キーと-キーで1から16までのチャンネルのうちカットするチャンネルを選び、ON/OFFキーで設定します。ディスプレイに表示されたチャンネル数の下1桁目にドット(・)がある時はONで、ドットがない時はOFFになっています。



⑪ リモコン信号送光窓

ここからMB01本体のリモコン信号受光窓に向けて、信号がおくられます。

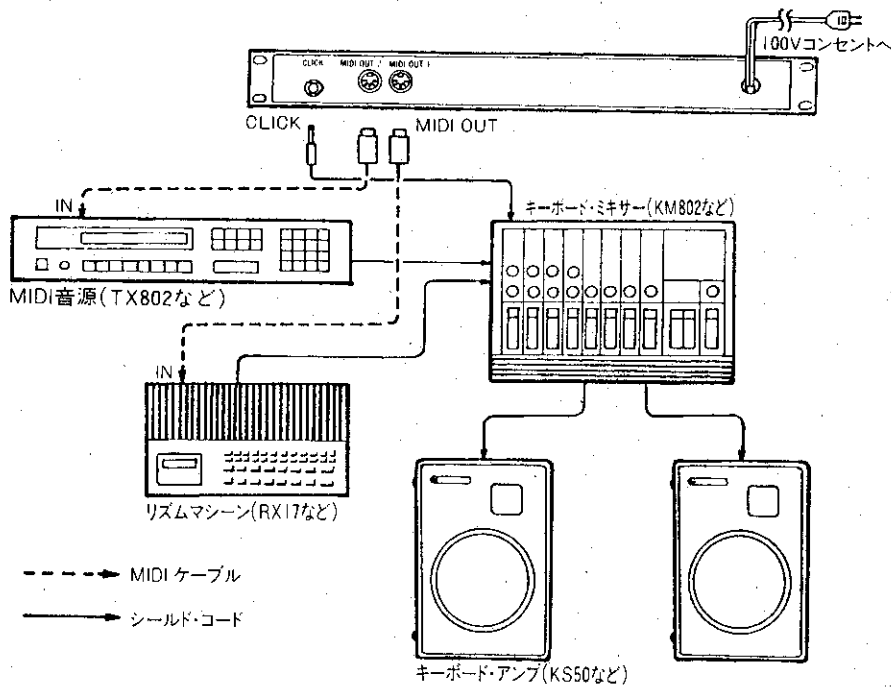
⑫ バッテリー・カバーおよび電池ケース

はリモコンの裏面にあります。詳しくは、“リモコンの電池セットについて”の項をご覧ください。

# ミディ・ボックス MB01の使い方

## I. 接続図

MB01は、本体の中に音源部分を持っていません。フロッピーディスクから読み込んだソング・データを、シンセサイザーなどのMIDI音源に送るためのシステムです。そのために、MIDIケーブルやシールド・コードで、MB01と他の楽器と接続しなければなりません。下の接続例を参考にご利用ください。



### ● ご注意 ●

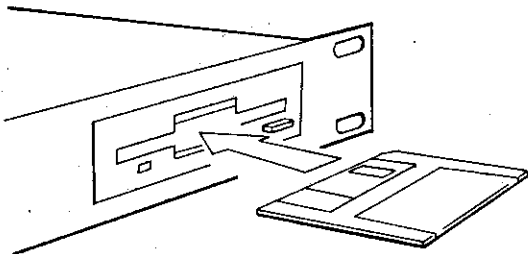
- ・再生機器のスピーカー破損などのトラブル防止のため、接続作業はMB01および接続機器の電源を切った状態で行なってください。
- ・MIDIケーブルは、MIDI規格の仕様にあったものをご使用ください。
- ・MIDIケーブルの長さは、15mが限度とされています。これ以上長いケーブルをご使用になりますと、波形の劣化などにより、トラブルの原因となりますのでご注意ください。
- ・コードやケーブル類を抜き差しする際は、必ずプラグ部分を持ってください。
- ・電源スイッチは、受信機器側の電源を入れてから、送信機器側をONにしてください。

## II. 再生のしかた

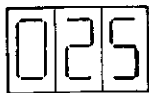
- ① 電源スイッチをONにすると図のような初期画面が表示されます。



- ② フロッピーディスクをディスクドライブに静かに挿入してください。



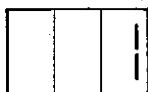
- ③ 選曲キーを押して、再生したい楽曲の番号を選んでください。+キー、-キーで3桁の数字が増減します。



ただし、すでに本体に読み込んである曲番号を選ぶと、各桁の下にドットがでます。



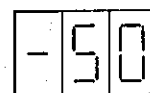
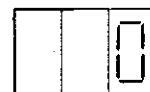
- ④ プレイ・キーを押すと、フロッピーディスクから曲のデータを読み込み、再生を開始。プレイ中は、図のように小節数が表示されます。



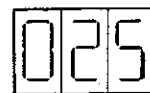
小節ごとに区切っていないデータを使用した場合には、秒数が3桁の数字で表示されます。



- ⑤ 音量キーで音の大きさを調節します。+キーと-キーで数値が増減します。NORMALキーで、もとの数値(0)に戻ります。



- ⑥ 曲の最後、もしくは途中で終了する時は、STOPキーを押してください。自動的に曲の頭に戻り、楽曲の番号が表示されます。



- ⑦ ご使用後は、STOPキーを押してから、フロッピーディスクを取り出し、電源スイッチを切ってください。ディスクを抜く前に電源スイッチを切ると、大切なデータを破損してしまうことがありますので、ご注意ください。

その他の機能の使い方については、前述の“各部の名称とはたらき”の項をよくお読みになってください。

## ミディ・ボックス MB01 応用方法

### I. ソング・データについて

MB01でご使用になるフロッピーディスクは、本体と接続したシンセサイザーなどのMIDI音源に送り込むための演奏情報が記録されています。この演奏情報とは、音の高さや長さを初め、テンポや音色の指定など、その曲の持つニュアンスをそれぞれの楽器に指示する役目を果たしています。それぞれの曲の特性を活かすため、曲のデータには楽譜の指示通りに小節ごとの区切りが入っているものと、曲全体の流れを重視して小節ごとの区切りをしていないものがあります。

前者のように小節制御をしている楽曲を再生する場合には、MB01のディスプレイには各小節を表示するようにしてあります。その他、区間や場所を設定する際にも、小節数で表示します。また、後者のようにソング・データに小節制御をしていない楽曲においては、小節数で表示できないため、秒数でディスプレイ表示してあります。区間設定などの際にも、クロックを基準とした秒表示になっています。この秒数については、000から999までの3桁表示となっていますが、この表示では0.0分から16.66分までしか表わせません。そのため、これ以降の秒数表示は、再び000に戻ることであります。

また、次に“ESEQ”によるディスクの互換性などに触れますが、ピアノプレーヤ MXシリーズのように、収録の際に小節制御のできない機器で記録したソング・データについても、MB01のディスプレイには秒数で表示されます。

### II. ディスクの互換性について

ヤマハ ミディ・ボックス MB01のディスクフォーマットは、“ESEQ”を採用しております。同じフォーマットを使用している下記の機器とは、ディスクの互換性があります。

- ◆デジタル・プログラマブル・アルゴリズム・シンセサイザー DX7II-FD
- ◆ミュージック・コンピュータ CX7/128用ソフト MIDIレコーダ YRM-31
- ◆デジタル・シーケンス・レコーダー QX3
- ◆ピアノプレーヤ MXシリーズ

これら上記の機器で、フォーマットを行ない、演奏データまたはバルクデータを書き込んだフロッピーディスクを、MB01によって再生またはバルク送信することができます。ただし、この場合ファイル名などがMB01のフォーマットに合っている必要があります。

### III. ESEQについて

“ESEQ”とは、シーケンス・データ（演奏データ）を記録するために、ヤマハが考案したフォーマットです。MB01のソング・ファイルも、“ESEQフォーマット”に準拠しています。したがって、ESEQフォーマット対応機器で作成されたディスク・ファイルと互換性を持つため、MB01で再生することができます。また、ESEQフォーマット対応機器で作成されたソング・データであっても、一部のパートが読めない場合があります。

詳しくは、ご使用になるESEQフォーマット対応機器の取扱説明書をお読みください。

## 故障と思われるときには

MB01をご使用中、正常に作動しなくなった時には、下記の事項をご確認ください。そのうえで正常に作動しない、もしくは下記以外で何か異常が認められた場合には、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店または最寄りの電音サービスセンターにお問い合わせ、またはサービスをご依頼ください。

症 状	原 因	処 置
電源が入らない	電源プラグまたは接続ケーブルの差し込みが不完全	確実に差し込んでください
再生ができない	電源プラグまたは接続ケーブルの差し込みが不完全	確実に差し込んでください
	不適当な操作を行なおうとした	“エラーメッセージについて”の項を参照
設定されている音量やテンポ、音程と違う状態で再生される	音量、テンポ、移調機能が設定されている	音量、テンポ、移調の設定をノーマル状態に戻してください
再生時に音抜けがする	テンポの設定が速すぎる	テンポを遅くする
	音量の設定が低すぎる	音量を上げる
	MB01のチャンネル設定が OFFになっている	MB01のチャンネル設定をONにしてください
接続している音源が再生しない	MIDIケーブル、シールド・コードの接続が不完全	確実に差し込んでください
	MIDIケーブル、シールド・コードの接続方法に間違いがある	“接続図”の項をご参照ください
	音源機器のMIDIチャンネルの設定が間違っている	使用する機器のMIDIチャンネル設定を直してください
	MB01のチャンネル設定が OFFになっている	MB01のチャンネル設定をONにしてください

## エラーメッセージについて

以下の表示がディスプレイに現われたときは、操作に何らかの誤りがあることを示しています。操作を中止し、STOPキーを押してから、ディスクを取り出して終了させてください。

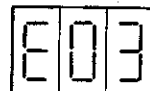
① メモリー・フル

(このファイル・データは、MB01内のメモリー量を越えており、ロードできません。)



③ リード・エラー

(ソング・データのロード中にエラーが発生、データを読み込めません。)



② アンフォーマット

(MB01用にフォーマットされたディスクではないため、読み込むことができません。)



④ 動作不可能もしくは動作禁止

(操作の指定方法が違うため、動作できません。)



## 仕 様

- メモリー容量 ----- 112Kバイト  
(システム・プログラム読み込み時のデータ領域は、これより狭くなります。)
- トラック数 ----- 16トラック
- テンポレンジ ----- ♩ = 20 ~ 300
- ディスクドライブ ----- 3.5インチ フロッピーディスクドライブ内蔵  
2DDタイプ=最大 713Kバイト・112ファイル / 1枚
- 接続端子 ----- MIDI OUT × 2、CLICK OUT
- 定格電源電圧 ----- AC100V、50 / 60Hz
- 定格消費電力 ----- 17W
- 寸法 ----- 480(W) × 44(H) × 289(D) mm / ラックマウント・タイプ (1U)
- 重量 ----- 3.5 kg
- 付属品 ----- リモコン、単4乾電池 × 2、MIDIケーブル (30cm) × 1

■ 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

## サービスについて

本機の保証期間は、保証書によりご購入から1ヶ年です。また、保証は日本国内でのみ有効といたします。

### ●保証書●

保証書をお受け取りのときは、貴店教室会場のご住所、お名前、お買い上げ月日、販売店名などを必ずご確認ください。無記名の場合は無効となりますので、ご注意ください。

### ●保証書は大切に●

保証書は弊社が、本機をご購入いただいたお客さまに、お買い上げ日より向う1ヶ年間の無償サービスをお約束申し上げるものですが、万一紛失なさいますと保証期間中であっても、実費を頂戴させていただくこととなります。万一に備えて、いつでもご提示いただけますよう充分ご配慮の上、保管してください。また、保証期間が切れましても、お捨てにならないでください。後々のサービスに際し、機種判別やサービス店の確認などにご利用いただけます。

### ●保証期間中のサービス●

保証期間中に万一故障が発生した場合、お買い上げ店にご連絡頂きますと、技術者が修理・調整致します。この際必ず保証書をご提示ください。保証書なき場合にはサービス料金を頂く場合もあります。またお買い上げ店より遠方に移転される場合は、事前にお買い上げ店、あるいは電音サービス拠点にご連絡ください。移転先でのサービス担当店をご紹介申し上げますとともに、引続き保証期間中のサービスを責任を持って行なうよう手続きを致します。満1ヶ年の保証期間を過ぎますと、サービスは有料となりますが、引続き責任を持ってサービスをさせていただきます。なお、補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後、最低8年となっています。そのほかご不明な点などございましたら、下記のヤマハ サービス網までお問い合わせください。

#### ■YAMAHA電気音響製品サービス拠点 (お預かり修理窓口)

東京電音サービスセンター  
〒211 川崎市中原区木月1184  
TEL(044)434-3100

新潟電音サービスステーション  
〒950 新潟市万代1-4-8  
シルバーボールビル 2F  
TEL(025)243-4321

大阪電音サービスセンター  
〒565 吹田市新芦屋下1-16  
千里丘センター内  
TEL(06)877-5262

四国電音サービスステーション  
〒760 高松市丸亀町3-7  
ヤマハ高知店内  
TEL(0878)51-7777, 22-3045

名古屋電音サービスセンター  
〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2  
ヤマハ名古屋流通センター 3F  
TEL(052)852-2230

九州電音サービスセンター  
〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4  
TEL(092)472-2134

北海道電音サービスセンター  
〒085 札幌市東区本町1条9丁目3番地  
TEL(011)781-3621

仙台電音サービスセンター  
〒983 仙台市御町5丁目7  
御商共同配送センター 3F  
TEL(022)236-0249

広島電音サービスセンター  
〒731-01 広島市安佐南区祇園町西原2-27-39  
TEL(082)874-3787

浜松電音サービスセンター  
〒435 浜松市上西町911  
TEL(0534)65-6711

本社  
電音サービス部  
〒435 浜松市上西町911  
TEL(0534)65-5195

#### ヤマハ株式会社 LM事業本部

デジタル楽器事業部  
〒430 浜松市中沢町10-1  
TEL(0534)60-2445

国内営業部  
〒150 渋谷区道玄坂2-10-7  
新大宗ビル 3F  
TEL(03)476-1521

東京事業所  
〒104 東京都中央区銀座7-14-3  
矢島ビル  
TEL(03)574-8592

大阪事業所  
〒542 大阪市南区南船場3-12-9  
心斎橋プラザビル 東館  
TEL(06)252-5231

名古屋営業所  
〒460 名古屋市中区錦1-18-28  
TEL(052)201-5145

九州営業所  
〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4  
TEL(092)472-2155

札幌営業所  
〒064 札幌市中央区南十条西1丁目  
ヤマハセンター  
TEL(011)512-6113

仙台営業所  
〒980 仙台市大町2-2-10  
TEL(022)222-8146

広島営業所  
〒730 広島市中区紙屋町1-1-18  
TEL(082)244-3744

★記載されている住所および電話番号は変更になる場合があります。

**YAMAHA**